

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 荒川区立尾久宮前小学校 (※正式名称を記載)  
種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他 (例：小中高一貫 )  
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒116-0011  
東京都荒川区西尾久1-4-17  
E-mail ogumiyamae-e@mail.aen.arakawa.tokyo.jp  
Website http://www.aen.arakawa.tokyo.jp/OGUMIYAMAE-E/

幼児児童生徒数 男子 131名 女子 162名 合計 293名  
幼児・児童・生徒の年齢 6歳～12歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「人と人 人と自然 人と社会 のつながりを大事にする」を活動テーマとして、ESDを次代を担う児童を育成するに最も普遍的な理念と捉え、ESDの実践を通して自分、そして友達と共同して問題を見出し、解決を図っていく力の育成を目標とした。

具体的には、環境、食育、国際理解を柱に、①ブナの植林に係わる活動、②鮭の里親事業に係わる教育、③江戸伝統野菜の栽培に係わる学習、④オリンピック・パラリンピックに係わる学習を行った。

### ① ブナの植林に係わる活動

15年目を迎えたブナの植林活動には4年生から6年生が36名、保護者・地域の方が28名参加した。今回は新潟県三条市ではなく新潟県十日町市での植林となった。三条市と比べ雪深い十日町市での植林は添え木を用いないなどの違いに児童も興味深げであった。合わせて水中の生物を捕獲したり、ブナの森の土のつくりを確認したりという活動も加えた。

## ② 鮭の里親事業に係わる教育

荒川区の事業を本校の教育課程に位置付けて実践している6年目を迎えた事業である。山形県鮭川村立鮭川小学校、荒川区立第二日暮里小学校との3校で実施している。鮭川村特産のきのこを使用した「きのこ給食」を年2回行った。12月に鮭の卵を設置していただき、孵化後5年生が中心となって稚魚を育て観察してきた。2月下旬に稚魚を鮭川村に移送し、3月3、4日代表児童が鮭川村に行って鮭川に稚魚を放流する。5年生の理科・社会科とも関連させている。

## ③ 江戸伝統野菜の栽培に係わる学習

4年生が江戸伝統野菜である「三河島菜」の栽培を通して地域の伝統文化に触れていく活動である。9月に種まきを行い、12月には収穫した。その際三河島菜以外の江戸伝統野菜についても講師を招いて出前授業を実施し、理解を深めた。地産地消のことなどから食育の要素も含んだ学習となっている。

## ④ オリンピック・パラリンピックに係わる学習

2020東京オリンピックに向け、世界に目を向けさせる取り組みを行ってきた。世界の国の料理を学校給食献立に盛り込んだ。キーワードは「5大陸」「日本の行事食」「おもてなし」で、自国の文化への誇りをもたせる意図もある。



① ブナの植林



② 鮭の里親事業



③ 江戸伝統野菜



④ オリンピック・パラリンピック

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

#### ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

#### イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

#### ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

#### エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

持続発展学習 (ESD) とユネスコスクール (日本ユネスコ国内委員会)  
ACCU news (ユネスコ・アジア文化センター)

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

各学年の年間指導計画の中にユネスコスクールとしての活動を位置付けている。総合的な学習の時間を中心に、生活科・理科・社会科等各科との結びつきを大切にして柔軟に実施している。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

ブナの植樹や鮭の里親事業は年度当初に担当を決め運営している。

日々の授業についてはユネスコ担当のもと、各学年の計画に沿って、学年会を活用し活動を推進している。特に食育に関する活動が多いので、栄養教諭との連携を密にしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

児童・保護者・教員・学校評議委員に学校アンケートを実施しているが、その中の関連項目から、評価している。ユネスコスクールの活動は児童・教員の意識としては高いが、保護者に対しての説明がやや不足している感がある。今後はユネスコスクールとしての活動内容を保護者会や学校だより、学校ホームページなどで更に効果的に周知していく必要がある。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

発信方法としては、ESDの取り組みを学校ホームページに写真で発信してきた。しかしどのような願いをもって取り組んでいるかは写真だけでは伝わらない。今後はESDの取り組みの全体構想から活動成果がわかるような丁寧な説明が必要である。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)  
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

宮前ブナの会、栄ブナの会(新潟県三条市)、荒川区教育委員会、山形県鮭川村、新潟県三条市、江戸東京伝統野菜研究会、小平市野菜組合、NPO海のくに日本などの団体と連携している。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

ユネスコスクール東京ネットワークミーティングの資料をいただいているにとどまっている。あとはユネスコスクールの学校ホームページ上の情報を参考にさせていただいている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項 2-5 に対応

児童の意識の中に、植物、食べ物、健康、環境などが関係しあっているという意識が高まってきている。入学してくる1年生の数が増加してきている。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

ブナの植林（5・6年）  
大面小学校との交流  
大根栽培・切り干し大根作り（1年）  
小松菜栽培・おひたし作り（2年）  
大豆栽培・とうふときなこ作り・しょうゆ教室（3年）  
三河島菜栽培・収穫し家庭で調理・江戸東京野菜・地産地消（4年）  
鮭の里親事業・みそ作り・稲づくり・こめの学習・海のくに日本（5年）  
廃油石鹸作り・（6年）  
オリパラ給食・行事食給食・おもてなし給食・和食器給食